

校内組織の整備と活性化について

- “学校チーム力” アップをめざして -

校内組織の整備と活性化

開かれた学校づくりの推進
(第1回答申で提言)

家庭・地域との連携推進

第2回
部会報告

< 今、学校に求められているもの >

一人ひとりの子どものニーズや保護者からの負託
へのきめ細かい対応
保護者・地域に開かれ信頼される学校づくり
自律・分権型の学校運営

< 現状・課題 >

ア 組織体制と責任の明確化
イ 情報の伝達・共有と組織運営
ウ 組織的な人材育成
エ 地域・保護者からみた学校
オ 危機管理体制

< 具体的方策 >

(1) 校務分掌など校内組織の整備

校務分掌の整理合理化
渉外・広報担当の明確化
地域コーディネーターの設置
管理業務と会議のスリム化

(2) 学校運営を支える機能の充実

校長の自律的な学校経営の推進
副校長の職務の整理
副校長の複数配置の検討
一定の機能をもつ管理職補佐職の設置
企画運営会議(仮称)の設置

(3) 事務処理体制の整備

事務処理体制の明確化・効率化
事務処理の「共同実施」
学校運営面におけるIT化の推進

(1) 校務分掌など校内組織の整備

方策1 校務分掌の整理合理化

学校教育目標実現のため、校務分掌の整理・合理化など組織の簡素化を進め、非効率的な学校運営を抜本的に改善

具体的な組織内容は、各校種・学校の実情に応じて自律的に決定

グループ編成例： 児童・生徒指導関係 教育内容関係 学校運営全般

方策2 渉外・広報担当の明確化

先に提言に掲げた「地域職員室」や、PTA活動に対応できる機能
情報発信や渉外の機能から、地域連携機能を明確化

方策3 地域コーディネーターの設置

地域協働のコーディネーター役の学校組織での位置づけ

方策4 会議のスリム化

教職員が教科指導や児童・生徒指導に力を集中できるよう環境整備
非効率的な全体参加による会議のスリム化等

(2) 学校運営を支える機能の充実

方策5 職員間の連携を重視した組織と校長の自律的な学校経営の推進

校長に学校経営に係る権限ができるだけ付与されることが不可欠

主任制度やチームワーク機能等の良さを生かしつつも、組織対応力の強化を図るため、
職員間における連携を重視した新たな体制の構築

方策6 副校長の職務の整理

副校長が校長を補佐する本来の機能を担い、カリキュラム管理や教職員管理に集中できる
よう校内業務全般の整理

特に、副校長・学校事務職員との職務の整理、役割分担の明確化

方策7 副校長の複数配置の検討

一定規模以上の学校においては、副校長の複数配置も検討

方策8 一定の機能をもつ管理職補佐職の設置

校長・副校長の学校管理職を補佐し、各部門を総括する職の設置

教務主任や学年主任については、原則として、この新たな職と兼務させる等の工夫

方策9 企画運営会議(仮称)の設置

校長・副校長のもとに、上記の管理職補佐職を加えた「企画運営会議」(仮称)を設置し、
学校内における意思決定の迅速化の推進

(3) 事務処理体制の整備

方策10 事務処理体制の明確化・効率化

副校長、学校事務職員、教員相互における事務処理分掌の明確化

方策11 事務処理の「共同実施」

学校事務の「共同実施」の効果を十分に検証したうえ、拡大を推進

方策12 学校運営面におけるIT化の推進

平成18年度以降は、新たな財務システムによる処理を段階的に学校へも導入

学校支援ボランティアの活用や、「民」の力の導入等も視野に入れた、ソフト面の整備、
職員の機器操作・処理能力の向上、サポート体制の充実等をあわせた推進